

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年3月4日 (2010.3.4)

【公表番号】特表2009-538939(P2009-538939A)

【公表日】平成21年11月12日 (2009.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-045

【出願番号】特願2009-512427(P2009-512427)

【国際特許分類】

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 183/00 (2006.01)

C 0 9 D 5/00 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 183/08 (2006.01)

C 0 9 D 183/07 (2006.01)

B 3 2 B 17/10 (2006.01)

B 3 2 B 15/09 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 183/00

C 0 9 D 5/00 D

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 183/08

C 0 9 D 183/07

B 3 2 B 17/10

B 3 2 B 15/08 1 0 4

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月15日 (2010.1.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) 少なくとも 1 種のホスホン酸ジエステルおよび / または少なくとも 1 種のジホスホン酸ジエステルと、

(B) 少なくとも 2 個の縮合性シラン基を含む少なくとも 1 種の化合物とを含む硬化性混合物 (A / B) の、付着媒介剤としての使用。

【請求項 2】

前記付着媒介剤が、少なくとも 1 つの基材、少なくとも 1 つのコーティング、少なくとも 1 つの接着層、および少なくとも 1 枚のシートを含む積層物に使用される、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

前記付着媒介剤が前記少なくとも 1 つのコーティング中にある、請求項 2 に記載の使用。

【請求項 4】

前記接着層がその表面にある前記コーティング中に前記付着媒介剤がある、請求項 3 に記載の使用。

【請求項 5】

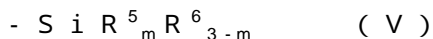
前記シートが、平面、実質的に平面、および三次元形状の光透過性成形品よりなる群から選択される、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 6】

前記ホスホン酸ジエステルおよび前記ジホスホン酸ジエステル (A) が、非環状ホスホン酸ジエステル、環状ホスホン酸ジエステル、非環状ジホスホン酸ジエステル、環状ジホスホン酸ジエステル、および環状 - 非環状ジホスホン酸ジエステルよりなる群から選択される、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 7】

前記化合物 (B) の縮合性シラン基が、次の一般式 V :



[式中、指標および変数の定義は以下のとおりである :

m は 1 ~ 3 の整数であり ;

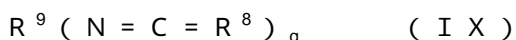
R⁵ は一価の縮合性原子または一価の縮合性有機基であり ;

R⁶ は一価の不活性有機基である] を有する、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項に記載の使用。

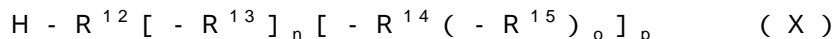
【請求項 8】

前記化合物 (B) が、

(a) 第 1 選択肢において、次の一般式 IX :



[式中、指標 q は、1 ~ 10 の整数であり、変数 R⁹ は、少なくとも一価の不活性有機基であり、R⁸ は酸素原子または硫黄原子である] を有する少なくとも 1 種の化合物を、次の一般式 X :



[式中、n は、0 または 1 であり ;

o は、1、2 または 3 であり ;

p は、1 または 2 であり ;

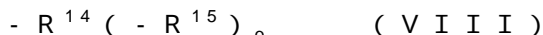
ただし、q = 1 の場合には o = 2 または 3 および / または p = 2 であることを条件とし ;

R⁹ = 一価有機基である場合には o = 2 または 3 および / または p = 2 であることを条件とし、 ;

R¹² は、二価の結合原子 R⁷ および三価の窒素原子 - N < および - N = [式中、「 = 」は二重結合を表す] よりなる群から選択される二価または三価の原子であるか ; あるいは

- NH - 、 - N (- R⁶) - 、 - NH - C (= R⁸) - 、 - NH [- C (= R⁸) -]₂、
- NH - C (= R⁸) - NH - 、 - NH - C (= R⁸) - R⁷ - 、 - NH - C (= R⁸) - NH
H - C (= R⁸) - R⁷ - 、 - R⁷ - N = 、 - R⁷ - NH - C (= R⁸) - 、および - NH -
C (= R⁸) - NH - N = C < [式中、「 = R⁸」、R⁷、および R⁶ は上に定義したとおりである] よりなる群から選択された二価または三価の結合官能基であり ;

R¹³ は、一価の不活性有機基 R⁶ であるか、または次の一般式 VII I I :

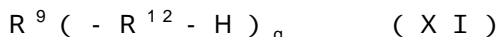


[式中、指標 o は上に定義したとおりであり、R¹⁴ 基および R¹⁵ 基は以下に定義されているとおりである] を有する基であり ;

R¹⁴ は、少なくとも二価の不活性有機基であり ; さらに

R¹⁵ は、前記一般式 V のシラン基である] を有する少なくとも 1 種の化合物と反応させるか、あるいは

(b) 第 2 選択肢において、次の一般式 X I :



[式中、指標および変数は上に定義したとおりである] を有する少なくとも 1 種の化合物を、次の一般式 X I I :



[式中、指標および変数は上に定義したとおりである] を有する少なくとも 1 種の化合物

と反応させることによって製造される、請求項7に記載の使用。

【請求項 9】

請求項 1 または 6 から 8 までのいずれか 1 項に記載の前記硬化性混合物（A / B）を用いて製造可能な、請求項 2 から 5 までのいずれか 1 項に記載の積層物。

【請求項 10】

（Ⅰ）請求項 1 または 6 から 8 までのいずれか 1 項に記載の硬化性混合物（A / B）を含む熱硬化性コーティング材料を、未塗布または事前塗布基材に塗布して前記コーティング材料の層を得ることと、

（Ⅱ）前記コーティング材料の層を単独で、またはその下にある（別のコーティング材料で構成される）少なくとも 1 つの層と一緒に硬化させてコーティングを得ることと、

（Ⅲ）前記コーティングと前記接着層を介して前記基材が前記シートに接合される、前記コーティングの領域に接着剤を施して接着剤の層を得ることと、

（Ⅳ）前記接着剤の層を前記シートに接合し、前記接合部を硬化させて前記接着層を得ることと

を含む、請求項 9 に記載の積層物の製造方法。

【請求項 11】

請求項 1 または 6 から 8 までのいずれか 1 項に記載の硬化性混合物（A / B）および少なくとも 1 種の熱硬化性ポリエステル（C）を含む、熱硬化性混合物。